

鬼瓦のルーツを尋ねて 韓国へ (33)

2 度目の訪中は三峡クルーズ

前橋市 富山 弘毅

中国を2度目に訪れたのは2002年5月、クラブツーリズムの長江三峡クルーズで、妻といっしょでした。上海から飛行機を乗り継いで、1泊目が武漢(ぶかん)でした。

武漢・黄鶴楼

翌朝、武漢市内の黄鶴楼(こうかくろう)を見学しました。悪天候で残念でしたが、豊かな装飾瓦を楽しめました。

黄鶴楼は、三国時代の223年、呉の孫権によって軍事目的の物見櫓として建築されたもので、幾度もの戦火による焼失と再建が繰り返されてきました。武漢随一の名勝で、中国の「江南三大名楼」のひとつとされます。

現在の黄鶴楼は19世紀当時の姿を参考にして1985年に再建されたもので、高さは約51.4メートルあり、5階までエレベーターで登れます。

荊州古城

バスで約4時間。荊州(けいしゅう)市で、三国志でも知られた江陵城(荊州古城)を見学しました。いま残っている城郭は1646年に改修されたものですが、中国南部で最も保存状態の良い城郭都市の1つだそうです。城の東門に龍と獅子らしい鬼龍子がありました。



武漢

黄鶴楼

(上) 鬼龍子が寺域を見下ろす



(下)

龍頭瓦

(= 鴟吻)



荊州古城 東門 鬼龍子

長江を宜昌から重慶へ

さらにバスで2時間、宜昌(せんしゅう)の港からチャーター船「国賓号」に乗船したのは、2日目の夜でした。

クルーズは重慶(じゅうけい)までの長

江「上り」で、船に4泊。通常の「下り」よりも相当のんびり、船は進みます。長江と建設中のダムの説明、太極拳の指導、書道のパフォーマンス、カラオケ大会などを合間にはさみながら、ゆったり景色を楽しみます。

快晴の日がなかったのが残念でした。



三峡ダムはまだ工事中でしたから、水位が上がったいまのクルーズで寄るポイントとは違いました。下船して見学したのは、白帝城、石宝寨、鬼城でした。

白 帝 城

永安宮ともいう白帝城は三国時代、蜀（蜀漢）の建国者・劉備が夷陵の戦いで呉に敗れ、逃れたところです。劉備は後事を諸葛亮に託し、この城で没しました。



白帝城 城門

後の唐の時代の詩人李白は『早発白帝城』（つとに白帝城を発す）という有名な詩を残しました。

朝に辞す白帝 彩雲の間

千里の江陵 一日にして還る
兩岸の猿声 啼いてやまざるに
輕舟已に過ぐ 万重の山

私は幼少のころ、漢文の教師だった父の影響か、詩吟を習い、この詩をよく吟詠した覚えがあります。

船着場から山上までの急坂を、駕籠やさんが200円で運び上げてくれます。この時期には1元は16円でしたから3,200円相当です。妻をはじめかなりの観光客が、誘いにのっていましたが、私はがんばって登りました。



白帝城への急階段を籠で登る人



白帝城 大棟上 鬼龍子

白帝城は2006年に三峡ダムの開発によって島となり、中華人民共和国の全国重点文物保护单位に指定されたそうです。

石 宝 寨

石宝寨（せきほうさい）は、長江沿いに屹立する比高50メートルを超える孤立した巨岩の上に立っています。明代に、山頂に3階建ての寺院（蘭若殿）が建築さ

れ、清代の1736年（乾隆元年）にケーブルを用いて修繕されました。

嘉慶年間に山に迫るように9層の楼閣（石宝塔）が建てられ、1956年に3層を増築して12層に改築されたといえます。中国人はよくもまあ、こんなすごいことをやるものだと、感に堪えませんでした。



石宝寨（上下とも）



石宝寨 塔 1956年増築の10～12階部分



下船したものの、ものすごい急坂を登りきれんだろうかと思案する間もなく、ニコニコしながら近づいてきたのが、ここでも駕籠屋さんたちでした。

必死で日銭を稼ぐ男たちの姿を前にややひるみましたが、今度は思い切って頼みました。楽でしたが、なんだか恥ずかしい気がしました。「金持ちの日本人」と見られたような感じがして。

石宝寨は門、城壁と塔本体で構成され、12階建ての塔は高さが56メートルあります。すべて木造で、世界八大異形建築の一つと称しています。2001年に全国重点文化財として保護指定されました。

石宝寨は、建設された三峡ダムが湛水すると一部が水没してしまうため、2005年に閉鎖して周囲を堤防で囲む保護工事をして、2009年に完成して再開放されました。私が見た岩峰の偉観は損なわれ、すっかり変わって水上に浮かぶ盆栽のような眺めになったそうです。三峡ダムは歴史的景観も大きく変えて、水没した歴史遺産もかなりあるといえます。



石宝寨 塔 入口前で

鬼 城



鬼城 地獄の門で筆者

鬼城（きじょう）では、「地獄の門」をくぐり、生まれて初めて閻魔大王とその夫人に会いました。閻魔に奥さんがいたことも、彼女がすごい美貌の持ち主だったことも、初めて認識しました。お堂の中に鎮座されている像を拝見した限りですが、



鬼城 閻魔大王の像



鬼城 閻魔大王夫人の像

閻魔さまは私が永年お付き合いしている鬼たちの親分に当たるのですが、これまでほとんど縁がなかったのです。

ちゃんと手を合わせてお詣りしてきましたから、死後の私にたいして理不尽な裁き方はしないでしょ。

三 峡 ダ ム

世界一の規模の三峡ダムは、急速にすすむ工業化を支える発電が主目的です。

1994年に着工して完成したダムの高さは185m、長江中流の幅2kmをせきとめ、最高水位175m、有効貯水容量222億トン、長さ600kmにもなります。出力70万kWの水力発電機26台によって、最大出力1,820万kW、年間約847億kW（日本の黒部ダムの53倍）の発電能力で、中国全発電量の10分の1を担うといえます。

さらに、6月から9月の洪水期（増水期）には水位を30m下げて56億トンの調節容量を運用し洪水調節も行うこともできるとされ、長年人々を苦しめてきた洪水を防ぐことができたり、内陸部への水上輸送がスムーズになったり、貯水できると、その意義が政府によって喧伝されました。

しかしその巨大さにゆえに、環境破壊、生態系の破壊、住民大移動の弊害を懸念する声は大きく、反対論も強くありました。とくにアセスメント（事前環境影響評価）がきちんとされていないという指摘は重要でした。

私は中国で発禁処分にされた書物の日本語訳を入手して学習した上、現地ガイドにそっとプレゼントしました。

1999年5月からスタートした住民移転作業により、立ち退きを余儀なくされた三峡ダム地区の住民は16万5千人に上ります。移住した人びとの多くは農漁民でしたが、適地で適職につける保障があったのでしょうか。完成後の気候変動などへの影響はどうなのでしょう。（つづく）